

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより



たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～

2学期が始まり、活気のある毎日を送っています。残暑の厳しい日もありますが、始業式の中で学び直した命を守る約束を考えながら「ももっこ信号」を確認する姿が見られました。少しずつ生活リズムを整えていけるように無理のない日課にして子どもたちとかかわってきました。

朝の登園時には、様々なエピソードがあります。「今週は、9時までに幼稚園へ行こう。」「今日は、一輪車に挑戦する!」などの子どものつぶやきがありました。それぞれの子どもが自分の目標をもち、それらを達成しようと頑張っている姿から成長を感じています。

中には、生活リズムを整えることに時間がかかっているご家庭もありますが、お家の方も子どもたちのつぶやきを聴いてくださり、プラスメッセージを投げかけていらっしゃいます。私もお家の方のように子どもたちを後押しできるようにかかわりたいと思いました。残暑厳しい毎日ですが、体を動かして心身ともに健康で過ごしていきます。

2学期始業式の学び
～気持ちの色を感じ、自分と向き合う時間に～

全園児で集い始業式を行いました。様々な年齢の幼児が集う絶好の機会です。夏休みの思い出を伝えあう中で、友だちの思いを最後まで聴く姿勢を大切にしました。私たち教師も子どもたちのつぶやきを大切にしようとして共通理解を図った上で進めていきました。

それぞれの子どもが夏休みを経験して、いろいろな気持ちで登園してきています。その思いに少しでも寄り添うことはできないだろうかと思案を1冊選択しました。絵本を読み進めていくと、自分の気持ちを色に例えて、その思いを整理しながら物語に入り込みました。「大丈夫だよ。ゆっくり気持ちを整理して、2学期を始めよう。」という私の気持ちも伝わるとうれいです。

絵本を通して気持ちを整理する



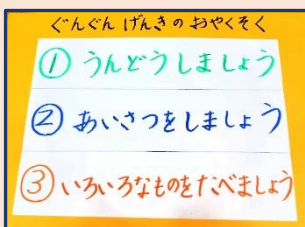
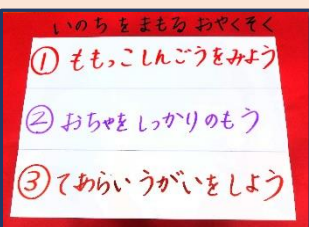
気持ちカードを使って
人の思いにふれる



「夏休みの思い出は、家族で花火を見たことです。」～自分の思いを伝える5歳児～

「夏休みの宿題できたよ～!？」

安全で楽しく過ごすための約束を交わし合う



遊びも充実【ダンゴムシ探し:3歳児】



エピソード記録から「この泥だんご、ぼくがつくったよ!」

今年度から、園の中に種類が異なる砂を入れました。感覚遊びの中で、砂の感触のちがいに気づいてほしいという願いがあるからです。私たち教師は、「子どもの気づきを待ってみよう。」という共通理解を図って遊びの環境をつくりました。

子ども自身が自分の力で発見することがとても大切です。発見した喜びは、気のあう友だちや年齢のちがう子どもたちにも伝わっていきます。

子どもたちは、何度も泥だんごを作り直したり、水を入れたり、こすったりしながらピカピカの泥だんご作りに挑戦しています。ある日の一場面です。出来上がった時「これは、ぼくがつくったよ!」と達成感でいっぱいのAちゃんの姿がありました。この特別な泥だんごを袋に入れて大切に保管したり、自宅に持って帰ったり、翌日には園に持ってきたりして過ごしています。Aちゃんにとって、泥だんごは宝物です。

このように遊びの中で、試行錯誤していく過程がとても大切です。その遊びの中の学びが持続して発展していくように教育環境を整えていきたいと思えます。

試行錯誤をしながら泥だんご作りを進める【5歳児】



砂の質に気づき泥だんご作りを始める【4・5歳児】



たくさん頑張ってきた人たちに贈りたい ~敬老の日おめでとう~ 【人権・キャリア】教育の取り組み

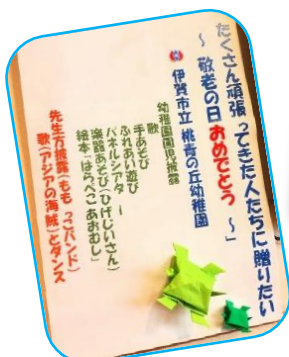


9月13日(金)5歳児クラスが地域の敬老会に参加しました。

園教育として地域を学びの場としながら探求活動へつなげていきたいというねらいがあります。また、社会貢献活動が子どもたちの生きる基礎にもつながるため、この度の機会をつくりました。

利用者様と子どもたちが気持ちをリラックスして楽しめるように保育内容を工夫して事前に企画しました。わらべうた遊び、絵本、ふれあい遊び、ペープサート、リズム遊びなどを通して、楽しさを共有したり、ふれあったりしました。あっという間の1時間でした。また、子どもたちは日常生活の中で身につけている力を発揮することもできました。進んで挨拶したり、身支度をしたり、感謝の気持ちを自分なりの方法で伝えたりする姿が見られました。子どもたちの成長を感じるとともに、毎日の積み上げがいかに大切なのかを痛感しました。

この経験を園の生活に取り入れ、振り返り活動をしながら園生活をより豊かなものにしていきたいと思えます。



あさがおイラスト:しんりさん



文責 まつなが あい

